

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 45

学校名・団体名	白川町立黒川中学校
HPアドレス	http://kurokawatyu.seesaa.net/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	I C Tを活用し，地域の伝統芸能を受け継ぐ
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校では，生徒が郷土の伝統芸能や産業，歴史等を体験したり，学んだりすることを通し，郷土についての理解と愛着を深め，地域に貢献しようとする態度を育てるふるさと教育を進めている。平成15年からは，文化祭での発表を和太鼓，歌舞伎，三味線とし，地域の指導者から学んだ芸能を地元にある明治時代から続く芝居小屋を借りて発表している。今年度，さらに生徒が主体的に学ぶ一助としてタブレット端末を活用して，互いに学び合う学習を行なっていきたいと考えた。</p>	

1 はじめに

本校は、地域の伝統文化「箱岩太鼓」「歌舞伎」「三味線」を各学年で取り組み、地域の行事や文化祭で地域の方に発表する機会をもっている。1年生は5月から、2,3年生は9月末から取組を開始する。今年度は、より主体的な練習をしていくために、自分たちで姿を振り返り、課題を見つけながら練習をする姿を目指した。そのための手立てとして、「iPad」の活用を試みた。

2 iPad を活用した練習



箱岩太鼓の練習風景



iPad で演奏の様子を見直す



夏祭りでの発表

中学生になった1年生は5月から「箱岩太鼓」の練習に取り組んだ。講師の先生の丁寧な指導を受けながら練習を進めていった。「こういうことに気を付けなさい」と指導を受けるが、自分の姿を見ることはできないので、できているのか、どこをどう直せば良いのかがはっきりとしない。そんなときに役立てたのが「iPad」である。体育の授業でも使い始めたが、自分たちが演奏する姿を撮影し、その場で見直し、できているかどうか、自分たちの姿を客観的に見ることができ、次の練習に生かすことができた。「ちょっとまって。今のところもう1回見せて。」そんなことも自分たちで簡単にできる。講師の指導を受けながら、自分たちの演奏動画を撮影し、チェックを入れながら自分たちで練習を繰り返していくことができた。その成果をまずは8月14日の黒川夏祭りで発表した。



仲間の動きを撮影する2年生「歌舞伎」



自分たちの動きの確認



手本を確認しながらの「三味線」の練習

2学期、体育祭が終わると今度は文化祭に向けた練習が始まった。ここから2,3年生も取組が始まる。1年生はさらに動きをそろえるという課題に取り組んだ。全体の動きはどうか、自分の動きはそろっているのかを振り返るために、ここでもiPadでの動画撮影は大いに役に立った。他の教科でも使用しているので、この頃になると生徒は自分たちで操作することにも慣れ、パート練習に使用したり、大型テレビに映して、全体で振り返りをしたりするようになった。

遅れて取組をスタートさせた2,3年生も1年生同様に「iPad」を活用し、主体的な練習を目指した。3年生の「三味線」練習では、講師の演奏を動画撮影し、それを手元に置いて個別練習の充実を図った。

2 実践を振り返って

一斉の練習では、個に応じた支援は十分にできない。しかし、今回のように自分たちで撮影したものを見直して課題を見つけ、何度もやり直したり、手本の演奏を手元で何度も見直しながら個別に練習したりすることは、個の力を付けることに大いに役立った。上達の速さは個によって違う。そのペースに合わせた練習を可能にしたのが、「iPad」の活用である。こういった練習だけでなく、教科の授業の中でも活用手段や場面は他にもあるだろう。今回、この助成で導入することができた機材の活用は今後さらに充実させていきたいと考えている。